

教員採用試験合格支援プログラムの「特別対策合宿A」を実施！

【第1日】

- ◇ 午前 10 時 30 分から青島青少年自然の家における入所式で、福井所長から二泊三日の合宿の目的についてお話をいただきました。目的の第1は、採用試験対策の様々なプログラムに真剣に取り組んで、合宿のねらいを達成してほしいということ。第2は、集団生活を通して規律を守り協調して生活することなど社会性を身につけてほしい



ということでした。これに対して、学生を代表して、中別府優さんが充実した二泊三日の合宿にしたいと述べてくれました。



入所式や荷物の整理などが終わった後、レストランで初めての昼食をとりました。バイキング方式で味もよく、お代わりをする学生もいました。

- ◇ 午後は、まず国語と算数の講義がそれぞれ 90 分ずつ行われました。窓からはよく手入れされた美しい芝生の運動広場や防潮林の松林が見えるすばらしい自然環境の中、冷房の効いた研修室で菅先生と渡邊先生による充実した採用試験対策講座が行われました。そのあと、個人面接練習を約1時間半行いました。



小幼コースの個人面接では、① 志望の動機等、② 教師としての資質、③ 履歴・身上・経験・信条など個人的事項、④ 教育改革・教育時事、学習指導要領、⑤ 生徒指導・学習指導などについて、二組の面接官から個人面接が行われました。また、幼保コースは各自治体で実



また、幼保コースは各自治体で実



際に質問された事項に基づいて面接を行いました。ここで、面接の練習後の感想を紹介しましょう。

- 面接の雰囲気を経験することができて、大変よい刺激になったと思う。実際の面接では、緊張感で今日以上に頭が真っ白になることも考えられるので、面接を想定した練習をすることが大切だと思った。
- 「宮崎県の求められる教員像」を理解し、また自分がなぜ宮崎県を受けるのかしっかり答えられるようにしたい。
- 多くの質問をされて、自分の知識不足が改めて分かった。そして、練習をつまないと、思ったことを口にするのは難しいことだと感じた。

◇ 夕食を終えた後、夕方6時30分から星座の観察を兼ねたナイトウォークを行いました。青島に向かって整備されたトロピカルロードは、潮風が心地よく、昼間の暑さを忘れさせる楽しいひと時であり、思わず歌を口ずさむ学生もいたほどでした。昼間の激しかったにわか雨がうそのように晴れ上がり、空には満天の星が煌めいて、絶好の星座の観察タイムとなりました。帰ってから入浴を済ませ、1日目のプログラムは終了しました。

【第2日】

◇ 午前中は、まず、図画工作の採用試験対策講座を行いました。守川先生の指導の下で小学校



学指導要領解説を用いながら過去問に挑戦したり、解説を聴いたりしました。用意した過去問をこの時間に全て解き、学生たちも達成感・充実感を味わっていました。



◇ 続いて、宮崎国際大学の創始者である宮崎学園本部の大坪相談役から、合宿参加者に向けた激励の言葉が送られ、学生たちは一つ一つの言葉に身動き一つせず耳を傾けていました。大坪相談役は、このあとの福田学部長をはじめ教育学部関係者との面談の中で、学生たちの自分に向けられた目の輝きが素晴らしかったと、学生の集中した姿勢に対して賛辞を述べられました。



◇ 次に、同じく宮崎学園本部の宮原本部長による「教員採用試験について」と題する特別講演がありました。貴重な資料をもとに、軽妙な語りと採用試験の参考になる中身の濃い講義をしていただき、学生も満足していました。





◇ 午後は、青島少年自然の家主催のオリエンテーリングを行いました。

やや曇りがちではありましたが、天気予報も問題ないということで、8つのグループに分かれてメンバーが協力しながらポイントをめぐり、時間を競いました。全員元気にスタートして、早いグループが3つほど帰ってきた頃、空が急に暗くなってきてあっという間に大粒の雨が降り出しました。自然の家の方々も予期せぬ雨で、私たちと相談の上この時点で中止することにしました。中止のメールを一斉に送るとともに、自然の家の方々が駆け回りすべてのグループが無事に帰ってきました。

天候の変化で、午後のプログラムを急遽変更することになりました。午後8時15分から行う予定であった「小論文の指導」をお風呂の前に持ってくることにして、着替えを済ませたあとに全員研修室に集まり、小論文の書き方について集中して学習しました。



夕食の後は、今年度4月から宮崎市立加納中学校に新規採用教員として勤務している本学卒業生の岡元聡さんに、「教員採用試験の実際」及び「英語教育の現状」について1時間の講話をしてもらいました。途中で学生から「採用試験対策はどんな方法でやればいいですか」という質問がありました。これに対して、岡元さんは、「試験対策に近道はありません。こつこつと日々の努力を積み上げていくしかありませんね」と体験に基づ

づく明快な、そしてシビアな答えを返してくださいました。この言葉を聞いて、教員採用試験対策に取り組む学生たちの自覚も一層深まったようです。

【第3日】

朝から雨という天候の中で、私たちスタッフは、午前中に予定していた水泳を何とか午後に変更できないかということ、



プールの管理者や指導していただく嶋先生などに相談したところ、午前と午後のプログラムを入れ替えて実施することになりました。屋内プールではあっても、天候が回復した中でできるだけ体を冷やさず水泳の練習をさせたかったので、感謝の気持ちで一杯でした。



水泳は、小学校教員採用試験で課せられる実技試験の一つです。どんな泳法でもよいので、50メートルを泳ぎきることが求められています。保育士も水泳の実技ができるにこしたことはありません。今回の合宿では、そのことを念頭において嶋先生のご指導の下で、水泳に自信を持つことを目指して指導を行っていただきました。準備体操の後、冷たい水に入ってバタ足からはじめ、次第に体を慣らしていきました。水泳を苦手とする学生には、嶋先生から個別に指導がなされたりしました。後半には、グループ別に競争を取り入れたり、男女対抗リレーを行ったりして充実した水泳指導の時間となりました。



◇ 学生教職支援センターにパソコン4台設置！

学生教職支援センターに新たに4台のノートパソコンが設置されました。これは、学生からも要望が出ていたもので、後期授業のスタートに間に合わせて設置されました。教員・保育士採用試験対策をはじめ、教育関連の情報収集等に、あるいは授業の予習・復習等に活用してもらいたいと思います。



◇ 1号館425教室を模擬授業教室としてリニューアルしました！

必修になっている各教科教育法Ⅰや特別活動の指導法、学級経営論などで学生に模擬授業の指導をする際に活用してもらおうための模擬授業教室の改装が終わりました。小学校の教室を模して掲示板（前面及び背面）や個人用ロッカー、共用棚などが設置されています。後期開設授業から早速活用していただきたいと思います。